

1. はじめに（ご挨拶）

本校人権同和教育部主事の梅田淳敬先生が入院され、代役を仰せつかった古田千博（ふるた ちひろ）です。本年度江津高校から転勤して来ました。担当教科は英語で、部活動は放送部の顧問をしています。まだまだ分からないことも多く戸惑う毎日ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この度「人権・同和教育部たより」を発行することにしました。本校での「人権・同和教育」の様子や、私たちが常日頃感じていることを皆さんに伝えていきたいと思えます。毎月1回の発行を目標にしますのでちょっと目を通してもらえると嬉しいです！



2. “他のためになす”をモットーに

学校長 池田速人

学校は家庭と違い、全く違った環境の中で生活し育ってきた者同士が一日のうちの多くの時間を、しかも数年間にわたって生活を共にしていく場所です。家庭生活で考えられる何倍もの問題が生じるだろうことは、残念ながら当然のこととして考えられます。

そこで、私から皆さんに学校生活に対して一つの提案があります。大変難しいことですが、“他のためになす”ということです。友達と話し行動するとき、今、友達は何を考え望んでいるのか、その思いを叶えさせるのにはどうしたらよいのかをいつも考えながら行動してみてください。自分を犠牲にしなければならぬことも出てくるでしょう。人は誰でも自分が一番可愛いものです。自我を持っています。その自分が他のためになした後、自分のことを考えて行動する。そんなことできるわけないと思うでしょうが、皆さんの中の何人かでも、その思いで学校生活を送ってみてください。素晴らしい友達ができると思えます。十回のうち一回でもよいのです。それを二回、三回と積み重ねていくうち、誰に対してもそのように対応していくことが出来るようになると思えます。そんな生活ができた人は、思い出

深い学校生活を送れることでしょう。また、そのように行動することができる人間なら、社会に出たとき、きっと周囲の人たちから大事にされ、愛される人となるでしょう。考えてみてはいかがでしょうか。

3. 浜田水産高校に転勤して来て思うこと

～「挨拶」について～

浜田水産高校に勤務し始めて3ヶ月が終わろうとしています。色々なことを感じる毎日ですが、今回は「挨拶」について書いてみます。私はもっと生徒のみなさんと「挨拶」ができればよいのに、と思っているのです。

毎朝私が出勤して職員室に入り最初にすることは「挨拶」です。もちろん、「おはようございます」です。水高の先生方はどなたも大きな声で気持ちの良い挨拶をしてくださいます。朝、生徒のみなさんとはほとんど顔を合わせません（まだ登校して来ていないようです）。

最近、生徒のみなさんの「挨拶パターン」には4種類あることが分かってきました。

パターン①：こちらから挨拶しなくても挨拶してくれる。

パターン②：こちらから挨拶すると挨拶を返してくれる。

パターン③：こちらから挨拶しても無反応。

パターン④：互いに無言…。

もちろん、①の生徒のみなさんも多いです。しかし残念ながら③、④のパターンも大変多いのです。

私は、挨拶は自分からした方がいいと思っているので、生徒のみなさんに「おはよう」「こんにちは」「さようなら」と言うようにしてきました。最近は、そうしなければいけない、そうすべきだ…と思いつながら④のパターンが圧倒的に多くなりました。こちらから挨拶ができません。そんな時は気分が重くなり、これではいかん、次は…といつも反省しています。なぜそうなってしまったのだと思いますか。

【PTO (Please Turn Over) 裏へ続く↓↓】

答えは単純明快、③は精神的にダメージを受けるからです。こちらから挨拶しても何も反応がない。はっきり言って「ガクッ」ときます。こちらの声が小さくて聞こえなかったのか、それとも恥ずかしくて返事が出来なかったのか、私が大嫌いなのか…、と色々と考えてしまいます。こういうことが続くと、こちらから挨拶しても無視されるかも知れないと警戒？して自己防衛本能が働き、③から④のパターンになってしまったのです。

そうか！もしかして私にだけ挨拶をしてくれないのかも…と考えて、他の先生と生徒のみなさんの様子を観察してみました。すると、やはり④のパターンも多いことが分かりました。

「挨拶」はコミュニケーションの基本中の基本で、あらゆる社会・言語において大変重要な役割を演じます。挨拶なしで良好な人間関係・集団を形成するのは不可能でしょう。しかし普段私たちはこのようなことを意識せずとも自然に挨拶を交わしています。友だち同士で「よっ！」「元気～？」とか、目を合わせてニコッとする。帰り際に手を振る。これらも立派な「挨拶」です。大切なのは、「時と場合」を考えて、ふさわしい挨拶をすることです。

朝、出会う時。授業の始まりと終わり。別れる時。互いに挨拶が交わせたらいいいですね。パターン③を恐れず続けていきます。



4. 浜田水産高校の「人権・同和教育」の予定

本校では各学期に1回、LHRの時間に人権・同和教育のテーマで授業を展開しています。また毎月1回、朝礼時に資料を読みアンケートに答えてもらう、という活動をしています。本年度のLHRの実施計画は次の通りです。次号で1学期の各学年の取り組み内容を詳しく報告します。

	1 年	2 年	3 年
1 学期	6 月 2 4 日 (月)	6 月 1 7 日 (月)	6 月 2 4 日 (月)
2 学期	1 0 月 2 1 日 (月)	1 1 月 2 5 日 (月)	1 1 月 1 1 日 (月)
3 学期	2 月 3 日 (月)		

今学期の各学年のテーマ (内容) :

- ・ 1 年 : 仲間づくり
- ・ 2 年 : 人間関係づくり
- ・ 3 年 : 「就職差別」について



2、3年生はこれまでの本校でのLHRを、また1年生は小・中学校での人権・同和教育の授業を思い出し取り組んでください。進路決定を目前に控えた3年生にとっては特に重要なLHRになると思いますので、真剣な学習を期待します。

(文責: 古田千博)